

## 非行防止と犯罪被害防止のバイブル 「健全育成ハンドブック」が大反響。

AJOSCの助成を受けて、社団法人 全国少年警察ボランティア協会が発行した「健全育成ハンドブック」が大好評を博している。現状に即した内容と使い勝手の良さが評価されたため、同協会では今年度も増刷配布を行うとともに、ネット犯罪防止へも取り組み始めた。

有償でも欲しいという声が続々と届いている。

昨年度、社団法人 全国少年警察ボランティア協会では、小学生と中学生を対象とする「健全育成ハンドブック」を改訂し全国のボランティアに無償配布をした。このハンドブックは子どもにも理解されるような平易な文章とイラストで構成されたものだが、発行以来、関係者からたいへんな好評を得た。表現もさることながらインターネット犯罪や、売春行為など実態に即し、踏み込んだ内容で、親向けへのアドバイスも加味したものだったからである。

ハンドブックを活用した人たちからは

「辞書のように、非行防止バイブルとして生徒たちが手元に置いて活用して欲しい資料だと思う」(保護司)

「携帯電話やインターネットを使うと犯罪につながりやすいことがわかり、怖くなった。持ちたいけれど親とよく相談したい」(小学生高学年)

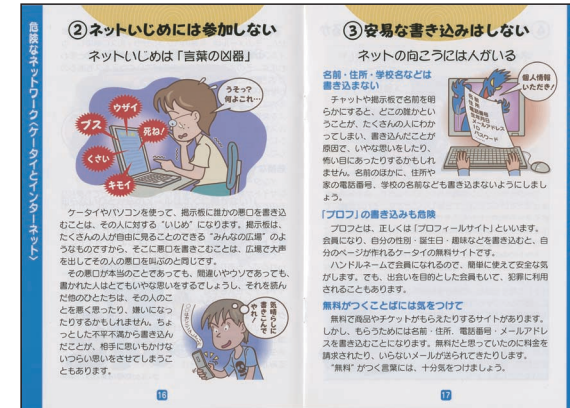
「項目が整理され、イラストも多いので子どもたちにもわかりやすい」(教諭)

などの好意的な意見が寄せられている。

冊子の存在を知った教育委員会や学校関係者から配布を希望されることも多く、2010年度は小中学校、教育委員会、各都道府県少年課等23団体に小学生向けハンドブック9,200部が、また中学生向けハンドブックは5,800部が有償配布されている。また、ある県では全児童・学生に配布したいという申し出もあったほどだ。ボランティアの現場でのニーズも多いため、無償配布のための費用をAJOSCが助成した。

同協会の事務局長勝俣茂さんは

「子どもたちに規範意識を持たせ、被害者の痛みを知り、相手を思いやる心を養うことをサポートできる資料に



充実した内容のため有償でも欲しいという声が続々と届いている

なりました。また全国のボランティア制度の認知度アップにつながったと考えております」と、手応えを感じている。

同協会では、ホームページや機関誌「みちびき」にこれらの事業結果を掲載し、地域・学校・家庭が一体となって子どもを見守り育てるためのネットワークづくりにもつなげていきたいと考えている。

### ネット犯罪から子どもを守る サイバーボランティアの育成。

健全育成ハンドブックの発行とともに活動の中心となるのが、サイバーボランティアの育成である。非常に多くの子どもたちがインターネットを活用しているにもかかわらず、行政や関連業界の対応は遅れている。いつどの子が犯罪に巻き込まれてもおかしくないというのが現状なのだ。

サイバーボランティアはそれを未然に防ぐための防波堤である。

例えば出会い系サイトをチェックし「中2です。お小遣いに困っています」というような書き込みを見つけた場合、発信先のメールアドレスなどをメモし、後日同協会から子どもたちへ「18歳未満の青少年が出会い系サイトを利用した結果、強姦等の凶悪な犯罪に巻き込まれる事件が数多く発生しています」という注意喚起のメールを送り、サイト管理者にも同様のメールで警告する。改善されない場合は警察に通報されるしくみだ。2010年度の実績として注意喚起メール12,088件、業者への警告16件となっている。

### 担当者より



後回しになりがちな  
本活動の  
意義をくみ取って  
いただきました。

社団法人 全国少年警察  
ボランティア協会 事務局長  
勝俣茂さん

AJOSCの助成なしにはできない事業でした。この不況の時代、もっとも後回しになりがちな少年警察ボランティア活動に目を向けていただいて感謝申し上げます。おかげさまで今後の方針なども見えてきています。今後ともご支援を継続いただければ幸いです。

また、ネットを通じた青少年相談なども行う。ここではいじめや学校、友人関係、家庭問題など項目が多岐に及ぶため、相談の内容や利用者の希望に応じて相談員が自動的に割り当てられる。

膨大な情報量を前にできることには限りはあるが、同協会ではボランティアを育成していくことが将来的な大きな運動につながると考えている。

「少年たちの周囲に大人はいるのですが、残念ながら無関心が黙殺する傾向が強いのです。その中で勇気を持って声をかけるボランティアが求められています。そして地域において、保護司、民生委員、児童委員などとボランティアがネットワークを形成し、協働していけるようになるのが目標です」と勝俣さんは語る。

「地域の子どもは、地域で守り、育てる」という当たり前のことができなくなっている現状の中、同協会の活動に寄せられる期待は非常に大きい。



2011年2月に開催したサイバーボランティア活動実技研修会



増刷された「健全育成ハンドブック」の小学生用と中学生用